



森ボラ 通信

第203号 2018年12月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <http://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

■ トピックス

◆2018年度CGC烏柵舞の森活動報告 —そしてこの7年—

早いもので(株)北海道シージーと「北海道CGCみどりところの基金」の7年間の協定事業は最終年となり思いを噛みしめながら、5月の状況調査に始まり12回の活動で181名が参加した育林活動は計画通り進みました。

6月、8月には、アカエゾマツの植栽区(11区)は刈払機で両サイドに繁茂したササ刈りと下草刈りを行いました。手刈り班は広葉樹区(8区)のツボ刈りをしたあと、刈払機で全面刈りと裾刈りは公園の芝刈りの様でした。全体を見て生長状態はアカエゾマツ、広葉樹とも順調です。



5月にはアカエゾマツを対象に植栽年度別の6列を選定して生長調査を実施し、一年間でどのぐらい生長するかの検証には期待して下さい。

人力地区(No.-1.2)に植栽した針葉樹、広葉樹は優先樹のシラカンバ、自生種のシウリザクラ共々生長し森としての体裁が整って来ています。

10月のオイスカ・ユネスコの育樹祭にはボランティア47名が集まり、チャランケシャチの丘の駐車場跡地にアカエゾマツ21本の植樹とNo.7にシラカンバ間引き施業を行いました。合わせて、「北海道CGCみどりところ基金」の谷口事務局長から最終検収を受けました。来年以降の施業については現在検討中です。

この7年を思い起こすと、2004年の台風で甚大な被害を受け復興を願って2012年にスタートしました。手つかずの状態から8年が経過して最初に取り組んだ作業は、繁茂したササや先駆樹種のシラカンバをかき分けて倒れずに残った母樹の毎木調査でした。その目的は母樹からの実生を期待したからです。母樹を残してのパッチワーク状の植栽列の地持ちは業者さん泣かせだったと聞きました。広さ22.72haを21に区分けして、災害に強い森の再構築を掲げモザイク状に造成された19植栽区には針広混交林を基本にアカエゾマツ6,061本、広葉樹5,320本を植栽しました。地持ちの人力地区の2区画は自然の生長に任せてギャップ地に補植程度の針葉樹、広葉樹を植栽しました。植栽後の育林管理は下草刈りを中心に4年間行い、その成果は森としての存在感を持たせて呉れる様に成りました。

その間に行った枯死率調査でもアカエゾマツ2.8%(2016年5月)、ヤチダモ4.0%、ハルニレ9.7%、ミズナラ32.0%(広葉樹2017年5月)の数値から見ると高い活着率でしたが、ササ、下草、蔓性のエゾウライチゴ等の生長も負けておらず特に2014年、2015年植栽区まだまだ従来通りの下草刈りは必要と思いますので、石狩森林管理署のご指導を待つところです。(文・事務局)

■ 活動報告

◆森ボラ忘年会報告

平成最後の忘年会は12月4,5日18名の参加で白老町虎杖浜温泉『ホテルいずみ』に行きました。36号線経由で初冬の憂うつな空の下3時間ばかりでホテルに着き部屋割り入浴後、柿沼さんの司会

進行でまず今年物故された和田、湯沢氏に黙とうを捧げ酒井代表幹事の挨拶、会席料理を肴に今年を振り返りにぎやかな宴会となりました。来年の幹事もくじ引きで酒井さん、清沢さんになりました。よろしくお願いします。

その後別室に移り持参のお酒やつまみで会員の親睦と交流を深め虎杖浜の夜は更けました。ちなみに虎杖とはありふれた野生のイタドリのごとで傷の痛みに効果があるらしいが本当でしょうか。

5日は早朝珍しく露天風呂から荘厳かつ神秘的な天地創造を思わせる太平洋の日の出を見ることができました。朝食後外に出ると身を切るような師走の風が枯野を吹き荒れ厳しい冬将軍の到来です。葉を落した桜の大木が春の花見を誘っています。

ご当地名物タラコのお店によりその後、国の史跡「仙台藩元陣屋資料館」及び「同陣屋跡」を見て回りました。資料館員の説明によると幕末列強諸国の侵攻に備え1856年仙台藩が幕命により半年で急造した堀と土塁に囲まれた約6町歩ばかりの砦に単身の藩士百名ばかりが日々訓練に励んでいましたが大政奉還、戊辰戦争、明治維新と日本の夜明け前の動乱で朝敵となったこの陣屋は身の危険を察知して砦を捨て故郷に戻り、150年を経た今その史跡に立つと藩士たちの叫びが聞こえるようで北海道が今も昔も北の守りの要である事に変わりはありません。

警護のかたわら故郷を偲び植えた赤松の老木が我々を見下ろしています。

陣屋跡になごりを惜しみ高速道路から樽前山を眺め昼には無事に札幌に戻りました。今年是不運にも幹事当番にあたり皆さんの協力と応援で役目を果たすことが出来ました。ありがとうございます。（文・加藤、写真・柿沼）



◆秋の清掃活動終わる

今年2回目の清掃活動を10月18日澄川都市環境林の市道澄川厚別滝連絡線沿いで行いました。今回はボランティア袋46個の他、タイヤ、TV、PCモニターなど合計530kgと例年の半分にも満たない量でした。これはごみ捨て禁止の旗竿の効果や毎年の清掃活動の積み重ねだと思います。活動参加者の努力に敬意を表します。また、ご協力いただいている札幌市環境事業部豊平・南清掃事務所の皆さんに感謝いたします。（文・事務局）



◆「マチなか×NPO」に参加して

北海道森林ボランティア協会が札幌市市民活動サポートセンター主催の「マチなか×NPO」に初めて参加してきました。



「マチなか×NPO」は、地下歩行空間や関連施設など不特定多数の方が集う場で、複数の市民活動団体の成果発表を行い、市民活動団体の取り組みを広く市民の方に伝えることを目的としています。

12月5日～7日までの3日間に56団体が参加し、札幌駅前通地下歩行空間北3条交差点広場（アカプラ地下）で「販売」、「ワークショップ・体験」、「ポスターセッション」、「ステージ」が行われました。

した。

北海道森林ボランティア協会は、12月7日（金）に「ワークショップ・体験」で会員8名（以下敬称略 大窪、小笠原、樫棒、清澤、佐野、西野（澄）、三橋、矢野）が参加しました。途中、酒井さん、高野さんが見に来てくれました。

9時集合、物品搬入、設置、11時～展示・販売 16時～片づけ 16時30分終了。昼過ぎから交代で昼食をとりました。開始前の10時半頃からお客様がお見えになりました。ワークショップ・体験の内容の内容は以下でした。

- ・丸太のコースターに焼きコテでイラストを描く
- ・木の置物（キーホルダー）の配布
- ・松ボックリ、竹などの化粧炭の配布
- ・森ボラのパンフレット配布



来ていただいたお客様は、総数82名でおよそ3/4の方にコースターのイラスト書きを体験していただきました。来ていただいた方には森ボラのパンフレットをお渡しし、ご覧いただくようお願いしました。お客様の傾向としては、9割以上は女性、約1割が若い人、子供連れ数人といった感じです。

当日用意した木の置物、コースター、パンフレットは全て配布しました。コースターも残り10枚程度になりました。思った以上に盛況であった様に思います。佐野さんが、歩行者にパンフレットを配っていましたが、受け取ってもらえず苦労されていました。

感想としては、来られるのは女性の方が多いため男性に来てもらう為にどうするか！ 会員の対応としては3人位で交代できるようなシフトを組んだ方が良いと思いました。

（文・矢野、写真・大窪、三橋）

『森ボラ図書コーナー』図書の案内

「森林・山村多面的機能発揮対策事業交付金」を活用して購入した図書を紹介します。閲覧、貸出し、今後の購入希望図書がありましたら市山、樫棒まで連絡をお願いします。（文・事務局）

森ボラ図書コーナー蔵書

番号	図 書 名	著 者	発行所	本体価格 (円)	購入年月日
55	増補新装版『北海道樹木図鑑』	佐藤 孝夫	(株)亜璃西社	2,800	2018/9/10
56	『北加伊道60話』	船本 秀男	(株)財界さっぽろ	1,850	〃

◆森林ボランティアを体験して

11月25日『土日森林ボランティアしませんか！』の呼びかけに、北海道科学大学生4名が参加し、代表の原田さんが感想を寄せてくれました。

今回、森林ボランティアに参加して、階段作りや薪割りを体験しました。階段作りでは、急斜面で危険な場所に木の階段を作りました。



マキ作り作業



完成した階段の前で

階段を作ることで小学生など森に来る方々が安全に森を歩くことができるようになりました。人のために活動することができ、とても良い経験になりました。そして昼食後には、木や森についてお話をさせていただきました。木は葉だけが呼吸をしているのではなく、幹でも呼吸をしていること、森林が環境にどのように影響しているのかを学びました。薪割りは初めての体験で、鉋や機械で薪を割りました。普段の生活で出来ないようなことを初めて体験でき、とても良い経験になりました。

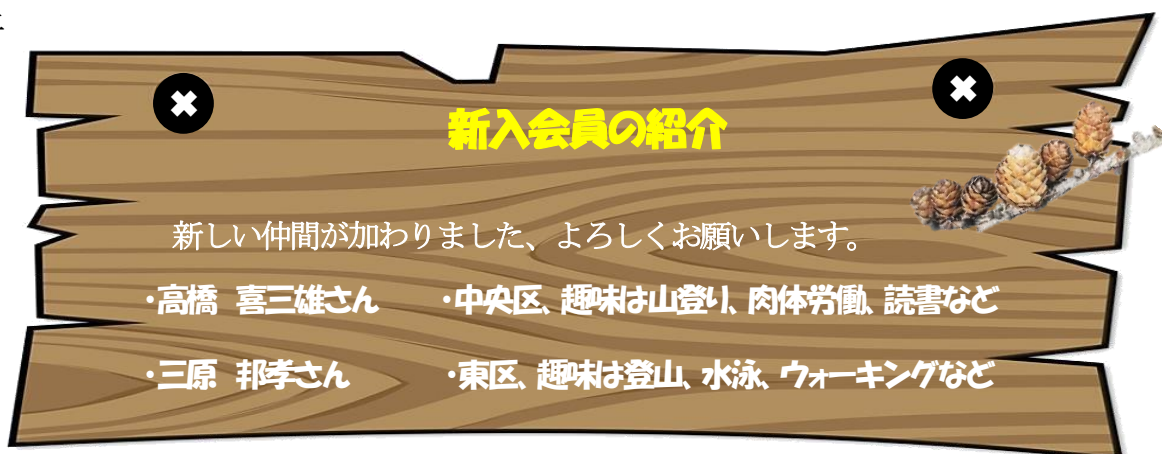
た。（文・北海道科学大学 保健医療学部 理学療法学科3年 原田 柊野）

■今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樞棒・加藤・清澤・酒井・佐野・高野・釣井・矢澤

1. 2019年1月、2月スケジュール
2. 会員増強委員会・・・会員募集チラシ（三つ折り、親子、土日）の確認
3. 森林・山林多面的発揮機能対策・・・防護服の購入、消耗品の範囲確認。
4. 報告 ・11/25 ボランティア体験 ・12/4 忘年会 ・12/7 チカホ展示・体験
5. チッパーの現状と方向・・・助成先を探し新規購入する方向で検討を進める
6. 冬季セミナー（2月20日、札幌エルプラザ）
 - ・会員例会：『2019年度親子森林教室について』清澤
 - ・講演：『動物モニタリング調査（案）』 森林総研 平川先生
7. 現場対応 年末整理：澄川機器整備、小屋清掃、棚卸
8. その他 ・『さっぽろ環境賞』受賞決定（「市民・団体部門」の「札幌市長賞」）2月授賞式
 - ・『札幌生物多様性フォーラム』発表（酒井代表幹事） 2/13 札幌市民交流プラザ
 - ・高額機材購入・・・卓上丸ノコ、斧の購入
 - ・2019年度の支笏湖周辺活動・・・6, 7回を予定
 - ・2018年11月会計報告

以上



■活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
11月13日(火)	アークス本社ビル	9	第二回理事会
11月15日(木)	澄川	14	E-6, 7区作業道設置、E-5区モニタリング調査
11月19日(月)	澄川	18	第二樹木園調査、マキ作り
11月22日(木)	澄川	12	第二樹木園調査、マキ作り、幼木冬囲い
11月25日(日)	澄川	14	第二樹木園調査、マキ作り、D-7階段設置
11月28日(水)	澄川	18	第二樹木園調査、マキ作り、ホダ場整理
12月1日(金)	澄川	14	E-6区標準地調査、マキ作り
12月4,5日	白老町虎杖浜温泉	18	忘年会『仙台藩白老元陣屋資料館』訪問
12月7日(木)	地下交差点広場	10	マチなか×NPO 出展・体験
12月8日(土)	澄川	11	C-5区標準地調査、マキ作り、スノーシュー置場設置
12月11日(火)	ラルズ生活研究C	11	幹事会
12月12日(水)	札幌エルプラザ	18	冬季セミナー『普通応急手当講習I』の受講